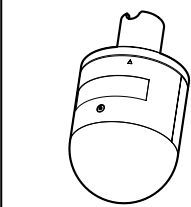
# 取扱説明書

日立監視用カラービデオカメラ

# VK-C849H

HITACHI
Inspire the Next

このたびは、日立監視用カラービデオカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

## 仕　　様

| 形名 | | VK-C849H |
|---|---|---|
| 用途 | | 屋内用カラービデオカメラ |
| 信号方式 | | NTSC方式準拠 |
| 撮像素子 | | 1/4型インターラインCCD型固体撮像素子 |
| 有効画素数 | | 768（H）×494（V）画素 |
| 総画素数 | | 811（H）×508（V）画素 |
| レンズ | | F2.0 f=2.0mm 固定焦点 |
| 包括画角 | | 水平：約98°垂直：約75° |
| 映像信号出力 | | VBS：1.0Vp-p、映像：約0.7Vp-p正極性<br>同期：約0.3Vp-p負極性 |
| S/N比 | | 46dB以上 |
| 水平解像度 | | 470TV本以上 |
| 最低被写体照度 | | 5.0ルクス |
| 光学処理系 | 自動絞り | あり（CCD電子絞り） |
| | オートホワイトバランス | あり |
| | フリッカキャンセル | あり |
| 画角調整 | 垂直振り角 | 約+48°〜−30° |
| | 水平振り角 | 約±45° |
| | 回転振り角 | 約±60° |
| 電源 | | DC12V±1.0V |
| 消費電流 | | 100mA以下 |
| 端子 | 映像出力端子 | 画角調整用×1 φ3.5ミニジャック（モノラルタイプ） |
| | | 記録機器・モニタTV用×1　BNC接栓（メス） |
| | 電源入力端子 | D2キャップ3ピン<br>タブハウジング：タイコエレクトロニクス型番：1-1318117-3<br>適合リセハウジング：タイコエレクトロニクス型番：1-1318120-3 |
| 許容動作温度・湿度 | | 動作維持範囲：0〜40℃、10〜85%<br>性能維持範囲：+5〜30℃、45〜75% |
| 外形寸法 | | 直径φ 50mm×65mm（取り付け金具および突起部を除く） |
| 質量 | | 約250g |

- 予告なく仕様を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際には、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

株式会社 日立製作所
〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
新大手町ビル

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

QR69643 ©Hitachi, Ltd. 2007　　Printed in Japan 0N-Y (I)

## 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保存してください。

- **絵表示について**

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、
いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
|  ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害（※2）を負う可能性が想定される内容および物的損害（※3）のみの発生が想定される内容を示しています。 |

※1重傷 ………… 失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2傷害 ………… 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3物的損害 … 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

- **絵表示の例**

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



### ⚠警告

**異常なときは使わない**
- 万一煙が出ている、へんなにおいがするなど異常状態のまま使用すると、火災の原因となります。すぐに電源機器の電源を切り、カメラへの電源供給をやめてください。煙が出なくなるのを確認して、お買い上げの販売店にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

**水にぬらさない**
- 万一水などが内部に入った場合は使用をやめ、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

**異物を入れない**
- 内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、入れたりしないでください。火災の原因となります。
- 万一異物が内部に入った場合は、電源機器の電源を切り、カメラへの電源供給をやめ、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

**落下のおそれのある場所に設置しない**
- カメラの重量に耐えられないような、もろい材質が使われている場所に設置しないでください。落下してけがの原因となります。

**電源仕様外の電源機器を使わない**
- 電源仕様外の電源・電圧で使用すると、火災の原因となります。必ず電源仕様内の電源機器をお使いください。

**引火性ガスが発生する場所に設置しない**
- 引火性ガスが発生する場所に設置すると、発火の原因となります。

**分解・改造しない**
- 分解・改造しないでください。火災の原因となります。

**風呂場では使用しない**
- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

**カメラを落とさない**
- カメラを落としたときは、正常に動作しているように見えても、内部に異常がある場合がありますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

### ⚠注意

**湿気やほこりの多い場所に設置しない**
- 火災の原因となることがあります。

**油煙や湯気が当たる場所に設置しない**
- 調理台や加湿器のそばに設置しないでください。火災の原因となることがあります。

**移動させるときは注意して**
- 移動させるときは、接続コードを抜いたことを確認のうえ、移動してください。つながったまま移動させると、接続コードが傷つき、火災の原因となることがあります。

**放熱を妨げない**
- 内部に熱がこもると、火災の原因となることがあります。本体には粘着テープなどを貼り付けないでください。

**接続コードを傷つけない**
- 接続コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりするとコードが破損し、火災の原因となることがあります。
- 接続コードを敷物などでおおわないでください。コードに気づかず、重いものをのせて接続コードを傷つけることがあるのでご注意ください。火災の原因となることがあります。

**接続コードが傷んだら交換する**
- 接続コードの芯線が露出したり、断線したときは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

**接続コードを熱器具に近付けない**
- コードの被覆が溶けて、火災の原因となることがあります。

**ぬれた手でプラグを抜き差ししない**
- 感電の原因となることがあります。

**お手入れするときは電源を外す**
- 安全のため、カメラへの電源供給をやめてお手入れしてください。

**長期間ご使用にならないときは電源を外す**
- 安全のため、カメラへの電源供給をやめてください。

**保守点検について**
- 保守点検を販売店にご相談ください。機器内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、保守点検の費用については、販売店にご相談ください。

## ご使用上のお願い

### ● 設置上のご注意　次のような場所には設置しないでください。

**強い電波や磁気のあるところ**
電波塔の近くやモーターを使った電気製品のそばなど、強い電波や磁気の発生するところで使用すると、画像がゆがんだりすることがあります。

**極端に高温や低温のところ**
許容動作温度範囲外のところでは使用しないでください。画質の低下や故障の原因になります。

**ほこりや湿気の多いところ**
カメラ内部にほこりが入ると故障の原因になります。また湿気が多いと、レンズにカビが発生する原因になります。

**油煙や湯気が当たるところ**
カメラ内部に油や水が入ると故障の原因になります。

### ● 使用上のご注意

**衝撃を与えない**
ぶつけたり、落としたりすると故障の原因になります。

**太陽や強烈な光に向けない**
撮像素子が焼き付き、撮影できなくなる場合があります。

**接続機器の取り扱いについて**
本機につなげてお使いになる機器の取扱説明書と、その「使用上の注意」もよくお読みください。

**お手入れについて**
ドームカバーの表面にほこりや汚れなどがつくと映像がきれいに映りません。ほこりや汚れなどがついた場合は、やわらかい布などを使って軽くふきとってください。

**お願い**
- ドームカバーをふくときは強くこすらないでください。キズが生じることがあります。
- ドームカバーをベンジンやシンナーなどでふかないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。



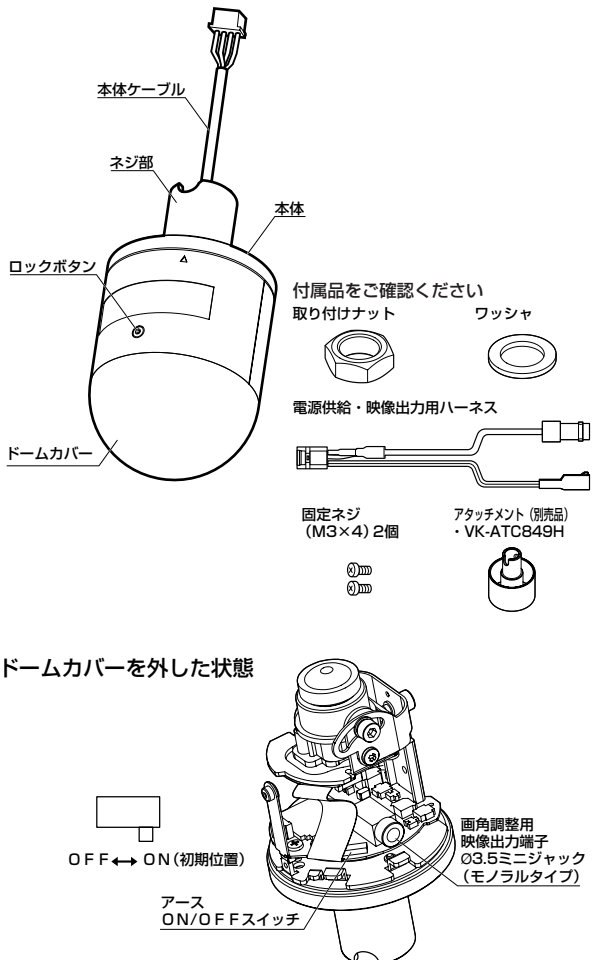
**外国では使わない**
このカメラは日本国内用です。
<This video camera cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.>

**著作権について**
あなたがカメラで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

監視用カラービデオカメラの故障もしくは不具合により発生した付随的損害（営業損失などの補償）の責については、ご容赦ください。

## 各部のなまえ

**ドームカバーを外した状態**

OFF↔ON（初期位置）
アース ON/OFFスイッチ
画角調整用映像出力端子 Ø3.5ミニジャック（モノラルタイプ）

## 設置のしかた

1 天井の通線穴へ、本体ケーブルとネジ部を通す。
2 カメラのネジ部と取り付けナット、ワッシャを使って、天井に固定する。
- カメラのネジ部のU字切欠き側がカメラ正面側となります（出荷時）。

3 その後、付属の電源供給・映像出力用ハーネスを接続する。

**ご注意**
- コネクタ・ケーブル等を傷つけないでください。
- 取り付けるときは、けが防止のため、手袋等をご使用ください。

【補足】
取り付けナットをある程度締めた後にネジ部のU字切欠きと穴にドライバなどを通して固定すると、取り付けナットの最終固定時に十分締めることができます。

ドライバなど

U字切欠きはカメラ本体のレンズ正面の向きと同じになっているので、エレベーター天井裏での設置作業時に参考にしてください。

**【天井照明を避けて取り付けたいとき】**
別売りのアタッチメント（機種名：VK-ATC849H）を使うと、天井の照明を避けて取り付けることができます。

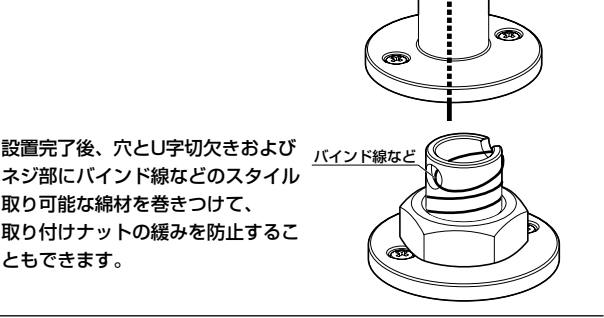
1 本体ケーブルをアタッチメントの穴から通す。
2 カメラのネジ部をアタッチメント底面のネジ穴に挿入し、締める。
3 アタッチメント装着後に必ず付属の固定ネジを締める。
4 天井の通線穴へ、本体ケーブルとアタッチメントのネジ部を通す。
5 アタッチメントのネジ部と取り付けナット、ワッシャを使って、天井に固定する。

6 その後、付属の電源供給・映像出力用ハーネスを接続する。

**ご注意**
- コネクタ・ケーブル等を傷つけないでください。
- 取り付けるときは、けが防止のため、手袋等をご使用ください。

設置完了後、ケーブル類をU字切欠き部に収納することが可能です。

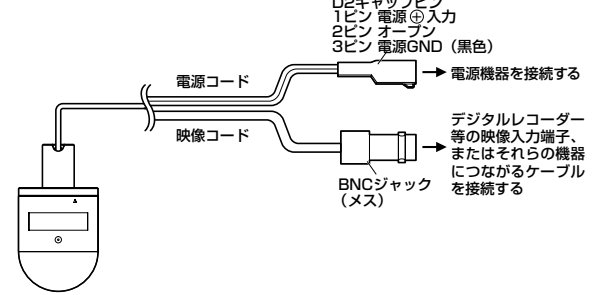
ケーブル類

設置完了後、穴とU字切欠きおよびネジ部にバインド線などのスタイル取り可能な綿材を巻きつけて、取り付けナットの緩みを防止することもできます。

**【ドームカバーの取り外し方】**
カメラ側面のロックボタンを2 mm程度押してから、①の方向に止まるまで回し、ゆっくりと②の方向にずらしてください。

**ご注意**
- 強くひっぱって脱落止めを切らないよう、ご注意ください。

**【ドームカバーの取り付け方】**
1 穴と三角のしるしを合わせ、ドームカバーを①の方向に取り付ける
2 ②の方向にロックがかかるまで回す

**ご注意**
- 本体の基板には手を触れないでください。故障の原因となります。また、レンズ面やドームカバーの内側に指紋等の汚れがつかないよう、ご注意ください。
- 天井に本体を固定するとき、映像コードおよび電源コードをはさまないよう、ご注意ください。
- 天井に取り付けたあとにドームカバーを外すときは、ドームカバーがレンズに触れないよう、ご注意ください。
- ドームカバーを取り付けるときには、脱落止めをドームカバーに挟みこまないよう、ご注意ください。

**【配線のしかた】**

## 画角を調整する

被写体がカラーモニターの中央にくるように調整します。

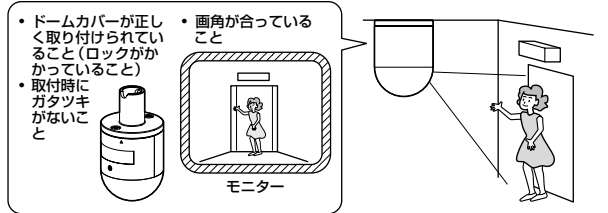
1 水平画角を調整したいときはAのネジを、垂直画角を調整したいときはBのネジを六角棒スパナ（2.5）でゆるめてから調整する。
回転画角を調整したいときは、Cのネジをゆるめてから調整する。
2 調整後、被写体が正しく映っていることを確認してから、A、B、Cのネジを締める。

45°　48°　30°　45°　60°　60°　A　B　C

**ご注意**
- Cのネジを調整するときは、φ3以下の小型ドライバーを使用し、基板や基板部品を破損しないようご注意ください。
- Cのネジは取り外さず、ゆるめる程度にしてください。

## 設置後の確認

- ドームカバーが正しく取り付けられていること（ロックがかかっていること）
- 取付時にガタツキがないこと
- 画角が合っていること

モニター

| | |
|---|---|
| 保証書（別添）について | この商品には保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。<br>保証期間は、お買い上げの日から1年間です。<br>なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。 |
| 補修用性能部品の保有期間 | 当社は、この監視用カラービデオカメラの補修用性能部品を、製造打切後8年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。<br>当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。 |
| 修理を依頼されるときは（出張修理） | 本機が正常に動作しないときは、ご使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。<br>なお、監視用カラービデオカメラの故障もしくは不具合により発生した、付随的損害（営業損失などの補償）の責については、ご容赦ください。 |

**保証期間中は**
修理に際しましては保証書をご提示ください。

| ご連絡していただきたい内容 | |
|---|---|
| 品　　名 | カラービデオカメラ |
| 形　　名 | VK-C849H |
| お買い上げ日 | 年　月　日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |
| ご　住　所 | 付近の目印等も併せてお知らせください |
| お　名　前 | |
| 電話番号 | |
| 訪問ご希望日 | |

**保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

| | 修理料金の仕組み |
|---|---|
| 技術料 | 診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれています。 |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。 |
| 出張代 | 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。 |

**保守点検サービスのおすすめ**
保守契約を結んでいただきますと、保守契約期間中は保守契約条項により、安心で有利なサービスが受けられます。
- 障害が発生した場合は保守員を派遣して、装置の修復を行うとともに、必要により点検を実施します。
- 詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

**日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ**
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87
（受付時間）365日／9:00〜19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120−3121−19
FAX 0120−3121−34
（受付時間）／9:00〜17:30（月〜土）
日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます
携帯電話、PHSからもご利用できます

・お客さまが弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
・ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
・出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。